

令和7年2月24日

公益社団法人神奈川県柔道整復師会  
会長 齋藤 武久 様

学術部長 村山 正  
事業部長 矢澤 正司

## 令和6年度救命救急講習会開催報告

標記の件につきまして、下記の通りご報告いたします。

### 記

- 1 実施日時  
令和7年2月23日（日）11:00～
- 2 実施場所  
本会仮事務所
- 3 講師  
横浜市消防局港北消防署 小机消防出張所長  
杉村友希 消防司令
- 4 従事者  
学術部長 村山 正・事業部長 矢澤 正司・広報部長 宮本 嘉保  
事業部員 八木 雅之・広報部員 二宮 嘉信、高橋 雄一
- 5 受講者  
正会員2名、一般者1名、小田事務局長 計10名（従事者含む）
- 6 実施内容  
横浜市の人口は約377万人で、救急車出場は1日700件位ある。  
熱中症や感染症等の流行時期では救急要請が多くなり、現場に向かう救急車の到着時間は平均するとおよそ10分位であるが、横浜市には救急車が90台しかないので到着まで30分位かかってしまう場合もある。  
救急車が到着するまでに心肺停止をして仮死状態に陥った人への救命処置として、
  - 1・意識があるかどうか
  - 2・自発的呼吸があるかどうか
  - 3・外見判断で出血等の損傷があるかどうかを見て、救急車の出動依頼とAEDの調達を行う。不安な場合には、携帯電話から119番救命救急指令室からの指示を聞く
  - 4・気道を確保して人工呼吸(任意)を行う
  - 5・心臓マッサージの胸骨圧迫は1分間に100回から120回程度、体表から5cmの深さに力が届くように圧迫する

- 6・AEDパッドの一方を右鎖骨部に貼付し、もう一方を左肋骨下部へ心臓の洞房結節に電流が流れるように貼付する  
ペースメーカーを入れている場合は心臓がある前後に貼付する(前胸部と背中)
  - 7・AEDが心拍リズムの異常を検出して、指示が出たらボタンを押して電気ショックを与える
  - 8・それでも意識が戻らない状態であれば、繰り返し心臓マッサージとAEDの電気ショック(最大6回行った事例報告あり)を行う
  - 9・救急車の到着後、救急隊員へ引き渡しの時にはAEDパッドは剥がさずAED本体からコネクターを引き抜いてそのまま搬送させる
- その他、乳幼児や小児への救命対処法や頸椎頸髄損傷の疑いがある場合の対処方法などの座学が終了したのち、実際にダミー人形を使用して2人1組になって実技指導がありました。

今回、現場経験が豊富な杉村所長から大変分かり易くて大変素晴らしいご講演を頂きました。来年度も救命救急講習会の開催を予定いたしておりますので、一人でも多くの皆様のご参加をお願い致しまして、以上ご報告いたします。

以上

